

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

10月中旬の冷たい雨が降る日、希望するすべての方を対象とした自己負担なしの新型コロナウイルスのオミクロン株に対応した1価ワクチン

の接種を受ける。今回で接種は7回目、回を重ねるごとに会場スタッフの手際よさに安堵感が増す。来年3月未まで特例接種は継続されるので多くの皆さんの接種を期待したい。

全国各地で温暖化が影響しコメの品質低下の情報が多し中、大北産米の初検査では全量一等米の判定と素晴らしい情報だ。知人が有機農法で栽培した新米を食べると、優しい風味に食がすすむ。

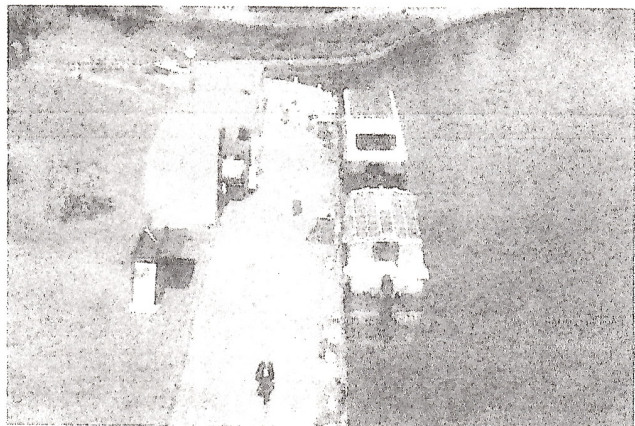
## 地域の土地利用が問われている

試験で反収1.5トという驚異的な収穫を実現したと発表。一般的にはコシヒカリの反収は9俵ほど。単純計算では3倍近い衝撃的な数字だ。だが試験栽培地を視察した関係者か

らは、春の早い時期に田植えをして、秋遅くに収穫する二期作がほ場の条件の良くない水田が多い大北地域でも可能になるのか課題との印象を強く抱いたと

れば、対応できない地域の農業は壊滅的な打撃を受けることは容易に想像できてしまう。再生二期作に対応できるほ場整備が新たに求められる地域も予想されるが、見通せない農

業経営の中では、新たな負担を担う農業者は限られてくるのだらう。今後農業で生産性を満たさない地域での土地利用の考え方が増々問われていくのだらう。



船舶は富山県所有。ソーラー船で船体は富山県の主要産業であるアルミの使用や県内企業の技術採用などが好感度を増す。

訪れた富岩運河環境公園では昭和初期の土木技術の完成度が評価され昭和の土木構造物として初めて国指定重要文化財に指定された「水のエレベーター・中島閘門」を乗船して体験。終点の港町岩瀬では北前船回船問屋の面影と歴史を残す国指定重要文化財「森家」で当時の歴史を語るガイドに魅了される。伝統的な家屋の見学だけでなく、人が伝える魅力の素晴らしさを再認識する旅でもあった。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)